

企画研修委員会の進行状況について（南部委員長）

企画研修委員会はこれまでに、2回開催された。検討内容は、札幌市小学校長会より提案があった2点である。

1点目、「対策活動等補助費」の位置付けや会計上の運営についての検討と確認。2点目、道小の組織運営の効率化に向けた今後の具体的な取組についての意見交換である。

1点目について、税源移譲に伴う対策活動費が必要であるということで、道小から札幌市校長会へ92万円が支出されている。地区内での活動費の使途について道小として言及するものではないと確認しているが、札幌市の支部研修会や専門部研修会の研修内容には、対策活動に関わる内容を含んでいること認識している。また、教育活動を充実させるために、定期的に教育委員会と連絡を取り合うことも行っており、これも対策活動である。また、理事研修会についても、対策活動を進める上で重要な機関会議であることを認識しており、会議を開けば相応の費用は必要となる。これらは、札幌市小学校長会が言うように、市小組織の充実に資するものであり、このような支出については、問題がないと考える。

2点目について、運営の効率化に向けた今後の具体的な取組についての意見交換である。これは3つの内容に分けている。1つ目は、会議等の精選、旅費の削減。2つ目は、道小研究大会の在り方について。3つ目は10年後を見据えた組織の在り方について。会議の精選については、平成15年以降様々な形で行われてきており、今後もできることを探し求める覚悟であるが、今年度は令和2年度の企画研修委員会で示された縮減案を実行するスタート年であり、まずは、それをしっかり行いたい。この縮減によって、今年度値上げのあった全連小会費についても、皆様に負担を強いることなく、この削減分で補っている。

そのほかの部分につきましても、現在、地区理事を中心に意見の方向を束ねているところである。今後、中間まとめを提示して、各地区からの意見を求めたい。